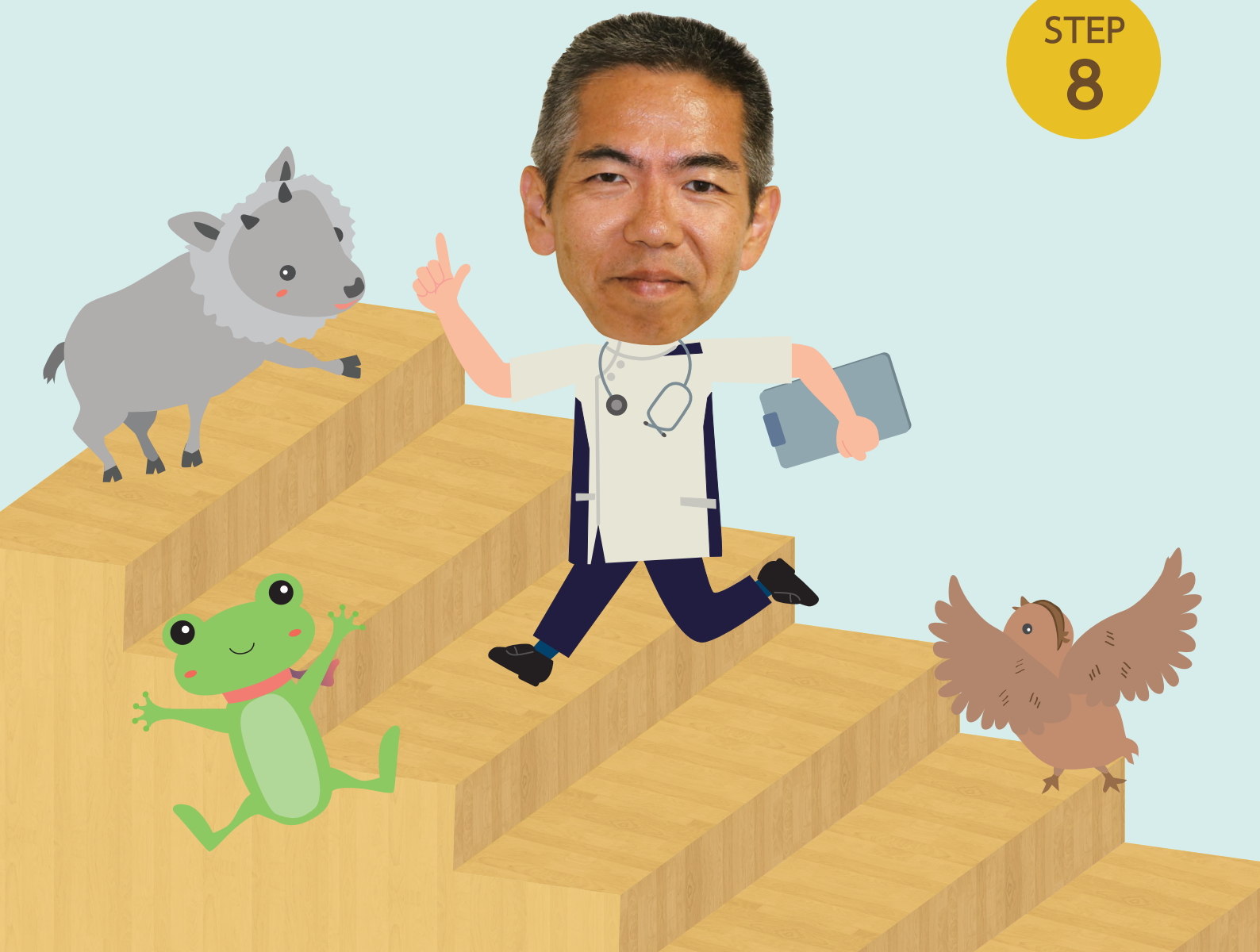


Step by Step

平成30年7月25日発行

STEP
8



《特集》

みんなで支える、子どもの心。

- わたしたちの思い～相談支援専門員編～／療養介護棟オープン！
- 病院からのお知らせ

ヒト



もり あきのり
森 昭憲 医師

プロフィール

1970年生まれ。富山医科薬科大学（現富山大学）卒業。内科、和漢診療、精神科病院勤務を経て、2017年より当院に勤務。精神科専門医・指導医。精神保健指定医。医学博士。専門分野は、児童思春期精神医学、精神医学一般。



●子どもと家族の気持ちに寄り添って応援したい。

Q.「子どもの心の外来」を携わろうと思ったきっかけは何かですか？

A. 自分が学生時代に困ったり、うまくいかなかった時、一緒に考えてくれる人がいたら良かったなという思いがありました。おとなになれば、相談できるスキルもあがるけれど、子どもの時期はなかなか相談できないもの。悩んだり、困っているお子さん達の気持ちに寄り添いながら、より良い人生を送ってもらえるように携わりたいと思っています。

Q.どんな症状のお子さんに、どのような診療をしているのですか？

A. 融通がきかない、パニックが起こってしまう、家では話せるけれど外では話せない（^{かんもく}緘黙）、摂食障害など、状況はさまざまです。いじめなどで心の傷を負ったり、学校に行けない・行きたくないお子さんの来院も少なくないです。

まず、来院しなくてはいけなくなった事情は何かを考えます。お話や検査などを通じて明らかになったお子さんの状況に応じて、家や学校での過ごし方や接し方の工夫、対応方法について提案します。不登校の場合は無理に登校しないことなど、本人の気持ちを尊重し保証することから始めることが多いです。必要に応じてセンター内の医師、看護師、心理士、相談員、療法士など医療チームで連携することもあります。また、お子さんの学校関係者や保健分野の関係機関など、センター外の関係者間のコーディネーター（調整役）を担うことも度々あります。

眠れない、不安、こわいなどの症状のお子さんに、治療の補助としてお薬（漢方薬など）を使いますが、お薬は治療の中心ではないですし、十分に説明し、ご納得されたうえで処方しますので安心してください。

Q.診療の中で心がけていることは何ですか？

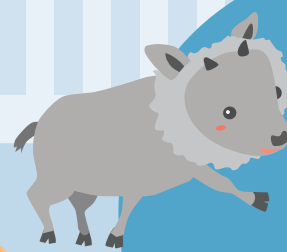
A. お子さんは、環境、特に家族関係の影響が大きいので、本人の話を聞くだけでなく、焦る気持ちや登校して欲しい思いなどのご家族の心情に寄り添うことも大切にしています。また、病院に連れてこられたお子さんに、どうしてここにきたのか理由を尋ねると「よくわからない」と話されることが多いです。そんな時、「わからないのに、よくきてくれたね」と声をかけるようにしています。そして「みんなでハッピーになればいいね」と伝え、この場所がそうなるために来ている所だと思ってもらえるように心がけています。

＊

最近、職員と一緒にリレーマラソンに参加された森先生。その時のお写真からも、みんなで一緒に楽しく取り組むことを常にモットーとしている先生の人柄と雰囲気が伝わりますね☆



森先生の
子どもの心の外来（児童精神）は、
水・木・金曜の午前・午後です。
なお、木曜は第1、2、4週目のみ診療。
※受診をご希望の方は、お電話等にてご相談ください。



モ

不安なきもちをやわらげる ～小児外来の工夫～

小児外来ではお子さんが緊張せずにリラックスして診察が行えるよう工夫されています。

- こども支援センター入口には、車いすやカートを数台ご用意しており、ご自由にご利用いただけます。また、子どもとおとなの受付はわけて設けており、できるだけ混雑状況を避けて、安心してご来院いただけるように配慮しています。
- 待合所には、プレイコーナーが設けられています。絵本やブロック、おままごとセットなどで遊ぶことができ、お子さんが楽しく診察を待つことができるように工夫されています。
- 診察室には、プレイマットが敷いてありブロックやおままごとセットなどで楽しく遊びながら診察を受けることができます。

診察では、注射や点滴のような「いたい」「こわい」といった処置をお子さんに行う際に、そのイメージが少しでも和らぐように看護師が人形を使ってプレパレーション（心の準備とそのケア、環境調整）を行っています。これから行う処置をお子さんと一緒に人形にすることで、どんなことが行われるのかを事前に知ってもらい、不安の軽減に努めています。



- 診察室の壁も部屋ごとに違った色になっており、どの部屋も温かみがあってリラックスできるようになっています。壁のイラストは、見慣れた富山の風景と、かわいキャラクターたちが描かれた絵本「コエルのにじのたび」をモチーフにしています。絵本は待合所にありますので、興味をお持ちになった方はぜひご覧ください。



コト



『子どもの心の外来』のご紹介

2015年、富山県高志リハビリテーション病院時代より『子どもの心の外来』がスタートしました。

2017年からは児童精神科医を1名迎え、常設となりました。

●どんなお子さんが受診されていますか？

心に悩みを抱えるお子さんやそのご家族が来院されています。

その悩みの背景にはさまざまなことが絡み合っており、不登校、引きこもり、家庭や学校での気になる行動、強い不安、食べられない、眠れないなどの行動や症状として表れている方もいらっしゃいます。



●「子どもの心の外来」の流れ



必要に応じて
主治医が以下の内容を
おすすめします。

診察

児童精神科医の初診、再診を受けていただき、お子さんに何が起きているのか、その方にあった治療は何かを考えていきます。

状態評価(アセスメント)

お子さんの状態を詳しく知るために、必要に応じて検査を受けていただきます。(心理、作業、言語、生理検査など。)



心理療法

心理士によるセラピーが必要と判断された場合、その方に合わせて言語面接やプレイセラピーを行います。(ご家族に心理療法を行う場合もあります。)



薬物療法

お薬により、不安定な心の状態や行動を緩和します。当院では漢方による処方も行っています。十分に説明しご納得されたうえで処方致しますので、ご安心ください。



関係機関連携

ご本人やご家族の了解のもと、必要に応じて保育所、幼稚園、学校、他施設と連携し、より良い環境づくり、関わりを目指します。



わたしたちの思い ～相談支援専門員編～



当院では県からの委託を受け、障害児等療育支援事業を行っています。この事業では、在宅の障害児（者）や、発達が気になるお子さんを持つご家族や関係機関を対象に、主に相談支援専門員が相談・支援を行います。また、医師が厚生センター等に出向いて相談を行ったり、必要に応じて作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・心理判定員・保育士等の専門スタッフが、ご家族の相談に応じたり保育所等の関係機関へ訪問して連携・支援を行います。

ご家族からは「リハビリに通っているけれど、同年代のお子さんと一緒に過す体験を持たせてあげたい」「言葉が遅く、お友達とうまく遊べない」といったご相談や、保育所等の先生方からは「ゲームに負けるのが嫌で、泣いたり怒ったりする」「席を離れて立ち動いてしまう。どのように配慮したら良いでしょう？」等といったご質問があります。先ずはご家族のお話しや、保育所等での様子を具体的に伺って、関わり方のアドバイスや必要な情報の提供をさせていただきます。

お子さんの気になる言動を見つめると、そこにはいろいろな原因や理由が見え隠れしています。お子さんの気になる言動の背景を、ご家族や身近な方と一緒に考え、お子さんの発達の特性に応じて環境を整理したり、お子さんに応じた関わり方の工夫や配慮をして、『お子さんの楽しい毎日』と『子育ての元気を支えるお手伝い』を目指しています。お気軽にご相談ください。

黒田 恭子



療養介護棟オープン！



旧病院5階を改修し、整備を進めていた療養介護棟が7月1日にオープンいたしました。療養介護棟では、医療的ケアと常時介護を必要とする方々に機能訓練、療養上の管理、介護および日常生活上のサービスを提供します。

ラウンジ（食堂）からは
立山連峰を一望できます



緑を基調としたやさしい雰囲気の
デイルーム



スタッフステーション



超微粒子のシャワーで体を温める
「ミスト浴室」

● 病院からのお知らせ

* 詳細は、ホームページまたは、総合受付横の案内板でご確認ください

8月

7日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、薬の知識)
8日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・未就学児期)
14日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の基本、運動療法)
21日(火)	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・幼児学齢期編)
	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、歯の衛生)
28日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・健康生活編)
	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、食事の管理)

9月

4日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、薬の知識)
11日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の基本、運動療法)
	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・成人期編)
12日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・在宅介護編)
18日(火)	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、歯の衛生)
19日(水)	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害児)
	サロン	保護者サロン(発達障害・成人期)
25日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・環境調整編)
	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、食事の管理)
	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・成人期編)
26日(水)	教室	家族教室(高次脳機能障害・年金制度)

平成30年8月7日

ヒーリングコンサート♪



● 外来診療案内 受付時間【午前】8:30~11:00【午後】13:00~15:00 診療時間 9:00~17:00

平成30年4月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○		○		○		○		○	
神経内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○		○		○		○	
リハビリテーション科	○		○		○		○		○	
泌尿器科					○	○	○	○		
精神科				○						○
脳神経外科				○				○		
皮膚科						○				
眼科										休診中
耳鼻咽喉科				○				○		
歯科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児神経科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児整形外科	○	○	○		○			第1・4	○	○
子どもの心(児童精神科)					○	○	第1・2・4	○	○	○

● 交通アクセス



■ あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅より徒歩バス

東富山駅より徒歩バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

■ 北陸自動車道

金沢方面＝富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折
新潟方面＝滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

■ 富山駅南口バスターミナルより徒歩バス(所要時間約30分) リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表

平成30年4月1日改正

平日(月～金曜日)ダイヤ

リハビリセンター行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由)

中央病院行き

(下赤江・富山駅前経由)

リハビリセンター行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由)

中央病院行き

(下赤江・富山駅前経由)

土曜・日曜・祝日(8月14日～16日)(12月30日～1月3日)ダイヤ

平日(月～金曜日)ダイヤ

リハビリセンター行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由)

中央病院行き

(下赤江・富山駅前経由)

土曜・日曜・祝日(8月14日～16日)(12月30日～1月3日)ダイヤ

平日(月～金曜日)ダイヤ

リハビリセンター行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由)

中央病院行き

(下赤江・富山駅前経由)

富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前
8:00	8:28	9:06	9:40	8:10	8:38	9:31	10:00
9:15	9:46	10:06	10:40	9:30	9:58	10:16	10:45
10:55	11:26	11:36	12:05	11:30	12:01	12:06	12:40
12:25	12:56	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:40
13:55	14:26	14:36	15:05	14:30	15:01	15:06	15:40
15:55	16:26	16:56	17:25	16:20	16:51	17:06	17:40
17:25	17:56	18:19	18:50				



病院の情報をもっと知りたい方は、ホームページにアクセスしてね!



【お問合せ先】

◆ 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地 ☎(076)438-2233(代)

ホームページ <http://www.toyama-reha.or.jp>